

下妻産をマレーシアへ輸出

タカミメロン、梨など青果物の販路拡大に手応え

「現地の試食・販売会で好評」

J A常総ひかりと同JA千代田地区メロン研究会、下妻市の3者は、下妻産タカミメロンのマレーシアへの輸出事業に動き出しました。

同JAでは、平成26年の秋に下妻市果樹組合連合会がマレーシアに梨を輸出し



マレーシアでの試食販売会でタカミメロンを売り込む草間組合長(右)と稲葉市長(右から2番目)

た際、現地のバイヤーから「年間を通して複数の品目を販売したい」との要望を受け、産地全体の青果物の販路拡大のため、他品目についても輸出を検討してきました。

新たな輸出品目として選ばれたタカミメロンは、果汁が多く、糖度が高め。果肉が黄緑色で、やや固めの食感から日持ちが良いのが特徴。出荷時期は5月下旬～7月上旬のため、梨の7月上旬～10月下旬となる出荷時期とあまり重なることなく、固い果肉を好むマレーシアの嗜好にも合うと考えました。

首都クアラルンプールの高級量販店2箇所、6月14日、草間正昭・JA常総ひかり組合長や稲葉本治・下妻市長がトップセールスを売り込みました。現地の消費者に試食してもらい、一部から「値段が高い」との声もありましたが、日本の良さを知っている人たちは「甘くておいしい」と好評を得ました。量販店からはその場で20ケースの追加注文を受け、6月18日の空輸で即座に対応。さらに7月上旬には230ケースを船便で送ることが決まりました。

同3者は、平成25年から東南アジアへの梨の輸出事業に取り組んでいます。マレーシアには平成26年から試験輸送や商談を重ね、昨年9月に「豊水」、10月に「新高」、11月に「貯蔵梨」を輸出しています。

平成27年は数量を増やし、「豊水」をメインに輸出。他にも7月にハウス栽培の「幸水」、8月は露地栽培の「幸水」、ブランド梨の「下妻甘熟梨(幸水)」、9月に「あきづき」を輸出する予定です。

現地で商談した同連合会の磯山仁さんは「マレーシアへの取り組みは2年目を迎え、5トン輸出する契約が結ばれた。新たな販路として現実味を帯びてきている。昨年の輸出で下妻の梨は現地でも受け入れられることを実感した。今年も自信をもって送り出したい」と確かな手応えに意欲を見せていました。



マレーシアの商社バイヤーの事務所で商談する下妻市果樹組合連合会の磯山さん(右から2番目)

市民協働・環境美化

みんなのまちをきれいに「第34回市民清掃デー」を実施

公共の場所等の清掃を実施する「市民清掃デー」が5月31日、市内全域で行われ、自治会などを中心に早朝から約7,000人が参加しました。

地元の道路や河川、公園などで行われた環境美化活動により、可燃ごみ約1,000kg、不燃ごみ約700kgものごみが回収されました。

今後も、きれいで住みよいまちづくりの推進にご協力をお願いします。



憩いの場所となる公園施設を清掃する地域住民の皆さん(宗道地区)

人権啓発・地域連携

7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の子カラ～は、平成27年で65回を迎えました。

第65回「社会を明るくする運動」の重点事項は、「犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる社会にする」とこととされています。この運動の推進にあたっては、例年の法務大臣メッセージに代わり、内閣総理大臣のメッセージが発せられています。下妻市保護司会(飯岡基会長)は6月11日、市役所本庁舎の市長室で、稲葉市長に同メッセージの伝達を行いました。

市では推進委員会を設置し、「更生保護の日」である7月1日からの1か月の強調月間に、市内各地で街頭キャンペーンを実施するなど、幅広い人々に対して、本運動と更生保護の取り組みに対する理解と協力を呼びかけ、地域における支援の輪の拡大を目指していきます。



内閣総理大臣メッセージを稲葉市長(中)に伝達する飯岡会長(右)、栗野副会長(左)

受賞者紹介

禁煙教育活動で「茨城県歯科保健賞」を受賞

青少年の禁煙教育に取り組んでいる「無煙世代を育てる会」(平間敬文代表)が、県内で歯科保健の向上に尽くした団体に贈られる「第28回茨城県歯科保健賞」を受賞されました。

同会は昭和59年に、医師や高校教師、会社員など約20人で結成。近隣の高校で講演を始め、「最初の一歩」に手を出させない「無煙世代」を育てる取り組みを続けて31年になります。

市内江の平間病院長で、同会代表を務める平間医師は「無煙世代を育てる取り組みが、歯科口腔の分野から認められたことに大きな意味がある。喫煙がほとんどの臓器に悪影響を与える中で、タバコの入口となる口腔内のケアが重要。今後も喫煙に対する環境や意識を『絶対に変えていく』という思いで活動していきたい」と受賞の喜びとともに、今後の抱負を力強く語りました。



受賞を喜ぶ会員の皆さん(5月28日、ピアスパークしもつまで)

温かい善意ありがとうございます

下妻市アマチュアゴルフ連盟より寄附

市は5月29日、下妻市アマチュアゴルフ連盟(栗原茂雄会長)から「市のスポーツ振興に役立ててほしい」と83,192円を寄附いただきました。

この寄付金は、アジア下館カントリー倶楽部で5月26日、同連盟主催による「下妻市民ゴルフ大会」の参加者278人から寄せられたチャリティー募金によるものです。



寄付金を稲葉市長(右)に手渡す連盟役員(左から大木副会長、根本副会長、栗原会長)